



Child Needs Home

令和 2 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月)
年間報告書

教育支援事業

エイズ孤児や貧困家庭の子どもで人身売買のリスクが高い子どもを対象に学費の支援をしています。定期的に子どもの家庭訪問を行い、子どもの成績、家族の経済状況を調査し、継続的に子どもが学校に通える状況であるか（経済状況が悪化していないか）評価しています。



日本では、2020年4月コロナ感染予防のために、緊急事態宣言が発令され、日本の子ども達も学びの場が一度なくなりました。図書館も閉鎖となり、子ども達は、本を読み終わっても、図書館で読みたい本を探し、借りることは、不可能でした。学童も自粛の要望があり、学童にも行けず、子ども達は、時間を持て余していました。学校で勉強できない、本も読めないという状況が3か月続きました。ミャンマーの子ども達は7、8月に学校に行っただけで、休校が続いています。学校は勉強をする場所だけでなく、人間関係なども学ぶ場所です。子ども達の大切な時間を無駄にしないように早く学校が再開できることを願います。

学校が再開されない中、学費という名目ではなく、子供たちに何かできないかという会員の方からご意見があり、現地スタッフと話し合いを行いました。話し合いの結果、支援している子どもの家族がコロナ渦で職を失ったこともあり、学校が再開されるまで毎月お米の配給を始めました。

現地スタッフは、「お米は必ず食べるため、どんな困難な状況でも買う。お米を配給すれば、お米を買うお金を他にも回すこともできる。もし、食べたい野菜があれば、お米と野菜を物々交換してもらえる。」と意見があり、お米の配給を開始しました。

皆様のご支援誠にありがとうございます。





支援している子どもの村で、子どもが産まれたばかりなのに、コロナ渦で父親が職を失った家族がいました。生活が困窮しており、緊急支援として、父親が就職できるまで、食料配給を毎月行うことになりました。皆様のご支援誠にありがとうございます。



おかあさんは、満足いく食事がとれていませんでしたが、母乳がよくでるのか赤ちゃんは、元気そうで、少し安心しました。

職業訓練事業

就学を終えた子ども達が、人身売買に巻き込まれないように自立支援を行っています。

子どもたちが、なりたい職業につけるように、様々な訓練校と関係を作っています。職業訓練校と関係性強化を図ることで、教育支援を終えた子ども達がスムーズに職業訓練を受けられるようにしています。

学校名：NISSAN 自動車整備訓練校



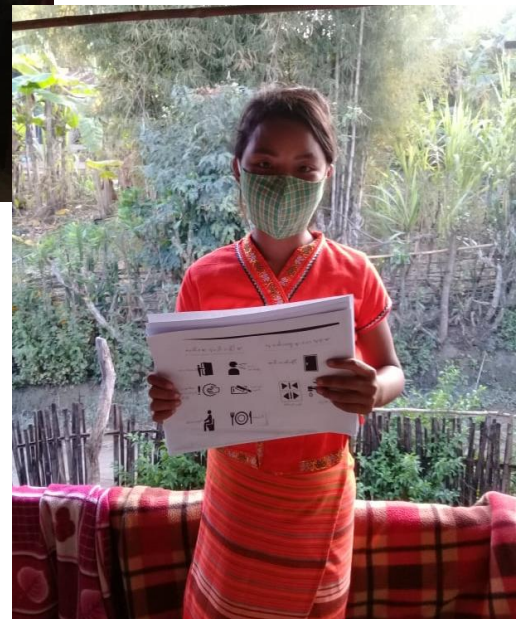
日産の自動車整備士を育てる職業訓練校にオンラインでインタビューさせて頂きました。インタビューさせて頂いた方は、愛媛の日産で働いていたミャンマー人で、ミャンマーでの訓練校立ち上げの際に誘われて、ミャンマーに戻った方です。日本の整備士 2 級を持っています。訓練校はヤンゴンにあり、訓練期間は 1 年間。訓練校では日本の整備士 3 級の資格をとれます。土曜日は日本語の勉強をし、卒業後は、ミャンマーにあるスズキ、トヨタ、日産のディーラーに就職や、技能実習生として日本に送り出しすることもできるようにカリキュラムを作っています。訓練資格は、高校卒業者で 30 歳まで、車好きの人に訓練に来てほしいと話していました。訓練を受け、専門性を身につけると、自分の技術を誇りに思うことができます。自分の仕事を誇りに思いながら、仕事ができる生活を Child Needs Home が支援している子ども達にも送ってほしいと思います。

保健教育事業



日本ではマスクが買えなくなるほど、マスク不足が深刻化した時期がありました。活動地チャイントンでも同じようなことが起こるのではないかと危惧し、コロナに感染予防目的で、支援している子どもとその家族に1人2枚マスクの配布を行いました。

保健教育事業



インターネットを使えない村人を対象に、コロナ感染対策パンフレットを作成し、100 部村人への配布を行いました。字を読めない人もいるため、絵をただけでわかるように工夫しました。Facebook に投稿し、Facebook を使用しているミャンマー人にも読んでもらえるように工夫しました。

コロナ感染症は世界に広がり、医療崩壊を起こし、経済にも打撃を与えました。ミャンマーでは、排泄時トイレトペーパーを使わずに手で陰部を洗います。もし、手を洗わずに食事を作ると大腸菌が食物につき、下痢になります。しかし、コロナ感染症予防のため、世界中で、手洗い、うがいの習慣が以前より身についたのではないかと考えています。そして、手を洗わないことで肺炎や下痢で死亡する人々が減るのではないかと考えています。

フェアトレード事業



豊田国際交流協会
国際理解セミナー（フェアトレードデイ）に出店

フリーマーケットに出店



BASEでネットショップを開設し、出品しています。

国際理解事業

講演活動やNGO活動に関するイベントへの出展を行い、ミャンマーの現状について多くの人に知ってもらう活動を行っています。



Child Needs Home のミーティング時に高校生へ
ミャンマー視察時の活動報告を行っている様子です。

令和 2 年度 収支計算書

	令和2年度決算	令和1年度決算書
I 経常収入の部		
1 会費収入	65,000	55,000
2 事業収入	701,400	827,000
3 寄付金収入	44,000	263,942
4 助成金等収入	0	0
5 その他収入	9	6
当期経常収入合計	810,409	1,145,948
II 経常支出の部		
1 事業費	220,532	682,839
1)教育支援 事業	183,769	682,839
2)保健教育事業	14,605	0
3)職業訓練事業	0	0
4)フェアトレード事業費	9,258	0
5)国際理解事業費	0	0
6)緊急支援	0	0
7)継続生活支援	12900	0
2 管理費	123,039	64,588
1)給料手当	0	0
2)会議費	0	0
3)旅費交通費	890	0
4)通信費	13,217	13,498
5)ホームページ管理費	11,604	9,147
6)運搬費	18,121	13,579
7)消耗品費	0	0
8)印刷代	5,241	14,580
9)印刷製本費	0	0
10)雑費	13,642	5,908
11)備品	60,324	7,876
3 予備費	0	0
1)予備費	0	0
当期経常支出合計	343,571	747,427
当期経営収支差額	466,838	398,521
III その他資金収入の部	0	71,698
その他の資金収入合計	0	71,698
IV その他資金支出の部	0	0
その他の資金支出合計	0	0
当期収支差額	466,838	470,219
前期繰越収支差額	2,245,427	1,775,208
次期繰越収支差額	2,712,265	2,245,427

活動の支援の方法

【皆様のご厚意の下、アジアの子どもたちに教育を届ける活動に励んでまいります。】

支援方法は、①会員制度 ②チャイルドスポンサー制度 ③マンスリーサポーター制度 ④寄付の4種類があります。

①会員制度

□正会員 5000 円 □学生会員 3000 円 （主に管理費などに充てられます）

②チャイルドスポンサー制度

・ 寄付金額 （子ども一人当たり/月々） □3000 円 □4000 円 □5000 円
（支援金は対象の子どもの学費に充てられます）

③マンスリーサポーター制度

・ 一口 月額 1000 円からのご支援

（貧困家庭では、学費の支援だけでは人身売買に巻き込まれます。勉強ができる環境を整えるために支援金は主に医療費や養育費に充てられます。）

④寄付

★会員や寄付はこちらの口座にお振込み宜しくお願い致します。

ゆうちょ銀行からのお振込み

振込先「郵便振替口座」口座番号 00870-3-110656

加入者名:Child Needs Home

ゆうちょ銀行以外からのお振込み

振込先「郵便振替座」預金種目：当座

口座番号：0110656

店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）店 089

加入者名：Child Needs Home



★チャイルドスポンサー制度、マンスリーサポーター制度にお申し込みの方は事務所にご連絡ください。

お問い合わせ：Child Needs Home

Tel：070-5031-4728 Email: childneedshome@gmail.com

URL: <http://www.childneedshome.jp/>



Child Needs Home

アジアの子どもたちに教育支援、自立支援を行う団体です

あなたの力で子どもたちの道は開けます